

# 神戸市民の貯蓄生活について（第一報）

## 草 間 操

### ま え が き

昨年から好景気が続いているのと、物価も一応は安定し、尙、国民の間に新生活運動が展開されてから四年目をむかえた今日、家庭経済の実権を握る多くの主婦は、衣食住の合理化、冠婚葬祭の簡素化、などを目標に、消費生活にもようやくその動きを見せてはいるものの、どの程度に具体化されているか、又そこに反省すべき余地を残していないかを考えてみたくなった。

国家の財政にも「予備費」があるように、家庭経済の予算の中にもそれぞれ目的はことなるとしても、ささやかながら、家族の幸のために、予備費としての「目的貯蓄」を是非実行して行きたいものだ。それについて、いろいろな方法が研究され、今後も続けられるであろうが、その前に、現状を知ることが先決問題と考え、私が最も手近に調査し得る、神戸市（農村を除く）を対象に選んだのである。

## I 調査の対象並びにその結果

### 1 調査の対象

- (a) 神戸市内の各区、即ち、東灘区（3校）灘区（3校）葺合区（2校）生田区（3校）兵庫区（3校）長田区（2校）須磨区（2校）垂水区（3校）合計21校の小学校を選んだ。垂水区の内1校は農村である。
- (b) 時期は昭和31年6—7月の間に調査票を配布回収した。
- (c) 次に示すアンケートを求めた。内容が家庭内の経済にふれているので、無記名とはいえ担任の先生に見せることを好まないで封書にして児童に持参させた。（別表1参照）

### 2 調査の結果

#### a 調査票配布に対する解答数

配布枚数	2,474枚
回答枚数	1,976枚
回 答 率	79.8%

〔別表1〕 財産の貯蓄又は運転の実際についてのしらべ

この調査は家庭経済研究のためにさせていただきます。勿論、無記名であり又外部には絶対  
 もらしませんし、従って税金にも全く関係いたしません。目的は純粹研究であり、家庭の  
 財産がどのような状態におかれているかを正確に知りたいためですから何卒御協力下さい  
 ませ。

おたくでは財産をどのように貯蓄又は投資しておられますか、該当する所に○印をつけて下さい。					
調査事項	○印	調査事項	○印	調査事項	○印
○銀行預金又は郵便貯金 をしていますか		3. 病気その他不時の災害に備えて		1. 土地又は山林	
1. している		4. 土地家屋の買入修築のために		2. 家屋	
2. していない		5. 納税のために		3. 預金又は現金	
○どんな種類の預・貯金ですか		6. 生活の改善の為に		4. 公社債、株券	
1. 当座預金		7. レクリエーションの為に		5. その他	
2. 普通預金		8. その他		○頼母子講(相互銀行)に加入していますか	
3. 定期預金		貯蓄するためにどのよう な工夫しておられますか		1. している	
4. 積立預金		1. 節約している		2. していない	
5. その他		2. 内職又は副業をしている		○金銭信託又は貸付信託に信託していますか	
6. 通常貯金		3. 臨時収入を貯蓄に廻している		1. している	
7. 据置貯金		4. その他		2. していない	
8. 積立貯金		○貯金のできないわけ		○家計簿をつけていますか	
9. 定額貯金		1. 余裕がないから		1. つけている	
10. その他		2. 出し入れが不便だから		2. つけていない	
貯金の方法として次のどちらが良いと思 いますか		3. 利子が安いから		同居家族について	
1. 天引で貯金する		4. 近くに金融機関がないから		年令	職 業
2. 残ったら貯金する		5. その他		主人	商業、工業、鉱業、賃金、俸給生活者、農林、漁業、自由業、無職、其の他
もし天引貯金をして おられるなら収入のどのくらいを天引 していますか		○生命保険に加入していますか			
1. 五分ぐらい		1. している		主婦	商業、工業、鉱業、賃金、俸給生活者、農林、漁業、自由業、無職、其の他
2. 一割ぐらい		2. していない			
3. 一割五分ぐらい		株式その他の有価証券に投資していますか		才	
4. 二割ぐらい		1. している		才	
○貯金はどういう目的 でしておられますか		2. していない		扶養家族 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, ○でおかこみ下さい	
1. 子供の教育費に		○おたくの財産はどんな種類のものですか		(依頼者) 甲南女子短期大学 草 間 操	
2. 結婚の資金に					

配布枚数	回答枚数	回答率
2,474	1,976	79.8

貯蓄に関する世論調査集計表

[別表 2]

調査事項	○印	商業		工鉱業		農林業		漁業		生活者		生活者		自由業		その他		無職		職業不明		合計	
		件数	百分比	件数	百分比	件数	百分比	件数	百分比	件数	百分比	件数	百分比	件数	百分比	件数	百分比	件数	百分比	件数	百分比	件数	百分比
◎銀行預金又は郵便貯金をしていますか	(計)	283	14	192	10	31	1.6	8	0.4	93	4.7	697	35	71	3.6	49	2.5	58	2.9	494	25	1,976	%
1. している		263	92.9	146	76	29	90	6	75	50	53.7	634	90.9	67	94	36	73.4	33	56.7	361	73.0	1,625	82.2
2. していない		20	7.1	46	24	2	10	2	25	43	46.2	63	9.0	4	5.6	13	26.5	25	43.1	133	26.9	351	17.1
◎どんな種類の預・貯金ですか	(計)	677		325		57		13		75		1,408		133		68		51		749		3,554	
1. 当座預金		97	14.3	24	7.4	6	10.1	1	7.7	1	1.3	67	4.7	15	11.2	5	7.3	2	3.9	65	8.7	283	8.0
2. 普通預金		181	26.7	113	34.7	2	0.4	5	38.4	32	42.6	435	30.8	23	17.2	24	35.2	22	43.1	244	32.6	1,081	30.4
3. 定期預金		123	18.1	49	15.1	21	3.6	1	7.7	7	9.3	258	18.3	31	23.3	13	19.1	17	33.0	126	16.8	646	18.1
4. 積立預金		114	16.8	53	16.3	11	19	1	7.7	9	12.0	203	14.4	24	18.0	10	14.7	4	7.8	118	15.8	547	15.3
5. その他		14	2.1	3	0.9	0	0	0	0	2	2.6	15	1.1	5	3.7	4	5.8	1	2.0	18	2.4	62	1.7
6. 通常貯金		33	4.8	19	5.8	2	0.4	2	15.4	10	13.3	125	8.8	4	3.0	4	5.8	1	2.0	45	6.0	245	6.8
7. 据置貯金		25	3.6	7	2.2	0	0	1	7.7	2	2.6	35	24.8	3	2.0	1	1.5	0	0	22	2.9	96	2.7
8. 積立貯金		53	7.8	37	11.3	5	8.7	2	15.4	5	6.6	179	12.7	19	14.2	4	5.8	3	5.8	63	8.4	368	10.4
9. 定額貯金		31	4.5	17	5.2	10	17	0	0	3	4.0	78	5.5	8	6.0	1	1.5	0	0	37	4.9	185	5.2
10. その他		6	0.8	3	0.9	0	0	0	0	4	5.3	13	0.9	10	7.5	2	2.9	1	2.0	11	1.5	41	1.2
◎貯金の方法として次のどちらが良いと思いますか		237		166		26		6		87		637		60		46		41		359		1,666	
1. 天引で貯金する		180	75.9	129	77.0	13	50.0	5	83.3	67	77.0	550	86.3	45	75.0	36	78.2	30	73.1	260	72.4	1,315	78.9
2. 残ったら貯金する		58	24.4	37	22.2	13	50.0	1	16.6	20	22.9	87	13.3	15	25.0	10	21.7	11	26.8	99	21.5	351	21.1
◎もし天引貯金をしておられるなら収入のどのくらいを天引していますか		159		107		13		5		27		476		34		24		14		227		1,086	
1. 五分ぐらい		42	26.4	35	32.7	2	15.0	2	40.0	15	55.0	159	33.4	11	32.3	6	25.0	5	35.7	69	30.5	346	31.8
2. 一割ぐらい		78	49.0	49	45.7	7	53.0	1	20.0	11	40.7	188	39.4	15	44.1	9	37.5	5	35.7	98	43.3	461	42.5
3. 一割五分ぐらい		19	11.9	8	7.4	0	0	0	0	0	0	51	10.7	2	5.8	5	20.8	2	14.3	27	11.8	114	10.5
4. 二割ぐらい		20	12.5	15	14.0	4	30.7	2	40.0	1	3.7	78	16.3	6	17.6	4	16.6	2	14.3	33	14.5	165	15.2
◎貯金はどのような目的でおられますか		613		311		73		10		85		1,358		149		63		52		702		3,321	
1. 子供の教育費に		153	24.9	97	31.1	15	20.5	3	30.0	20	23.5	402	29.6	33	22.1	22	34.9	18	34.6	209	29.7	972	29.3
2. 結婚の資金に		44	7.1	21	6.7	8	10.9	0	0	3	3.5	96	7.1	14	9.3	7	11.1	5	9.8	56	7.9	254	7.6
3. 病気その他不時の災害に備えて		178	28.9	105	33.7	22	30.1	2	20.0	45	52.9	454	33.4	51	34.2	21	33.3	18	34.6	238	33.9	1,134	34.2
4. 土地家屋の買入修築のために		59	9.6	29	9.3	7	9.5	1	10.0	4	4.7	78	5.7	14	9.3	5	7.9	1	1.9	39	5.6	237	7.1
5. 納税のために		81	13.2	14	4.5	6	8.2	1	10.0	3	3.5	45	3.3	17	11.4	1	1.5	2	3.8	52	7.4	222	6.7
6. 生活の改善の為に		48	7.8	28	9.0	12	16.4	2	20.0	5	5.8	111	8.1	12	8.0	4	6.3	5	9.8	65	9.2	292	8.8
7. レクリエーションの為に		16	1.6	6	1.9	0	0	0	0	2	2.4	35	2.5	3	2.0	0	0	1	1.9	20	2.8	83	2.5
8. その他		34	5.5	12	3.8	3	4.1	1	10.0	3	3.5	41	3.0	5	3.3	3	4.7	2	3.8	23	3.2	127	3.8
◎貯蓄するためにどのような工夫をしておられますか		276		173		29		7		55		741		67		41		30		389		1,808	
1. 節約している		174	63.1	89	51.4	18	62.0	3	42.8	28	50.9	409	55.1	42	62.6	21	51.2	16	53.3	215	55.2	1,015	56.1
2. 内職又は副業をしている		18	6.5	27	15.6	7	24.1	2	28.5	16	29.0	84	11.3	4	5.9	9	21.9	6	20.0	58	14.9	231	12.7
3. 臨時収入を貯蓄に廻している		49	17.7	35	20.2	2	6.8	0	0	9	16.3	185	24.9	12	17.9	5	12.1	4	13.3	85	21.8	386	21.3
4. その他		35	12.6	22	12.7	2	6.8	2	28.5	2	3.6	63	8.5	9	13.4	6	14.6	4	13.3	31	7.9	176	9.7
◎貯金のできないわけ		29		50		9		4		48		125		9		14		31		252		470	
1. 余裕がないから		23	79.3	41	82.0	5	55.0	2	50.0	46	95.0	116	92.0	7	77.7	11	98.5	28	90.3	129	51.1	408	86.8
2. 出し入れが不便だから		0	0	3	6.0	1	11.1	1	25.0	1	2.0	6	4.8	0	0	0	0	1	3.2	4	1.5	17	3.6
3. 利子が安いから		2	6.8	1	2.0	1	11.1	0	0	0	0	1	0.8	1	11.1	0	0	0	0	4	1.5	10	2.1
4. 近くに金融機関がないから		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.8	0	0	0	0	0	0	20	7.9	3	0.6
5. その他		4	13.7	5	10.0	1	11.1	1	25.0	1	2.0	1	0.8	1	11.1	3	21.4	2	6.4	13	5.15	32	6.8
◎生命保険に加入していますか		283		192		31		8		93		697		71		49		58		494		1,976	
1. している		212	74.9	144	75.0	24	77.4	6	75.0	41	43.9	548	78.6	57	80.2	23	46.9	25	43.1	310	62.7	1,390	70.3
2. していない		71	24.7	48	25.0	7	22.5	2	25.0	52	55.9	149	21.3	14	19.7	26	53.1	33	56.8	184	46.2	586	29.6
◎株式その他の有価証券に投資していますか		283		192		31		8		93		697		71		49		58		494		1,976	
1. している		92	32.5	46	24.0	6	19.0	0	0	2	2.1	288	41.3	31	43.6	9	18.3	6	12.2	87	17.6	567	28.6
2. していない		191	67.4	146	76.0	25	80.6	8	100	91	97.8	409	58.6	40	56.3	40	81.6	52	89.6	407	91.8	1,409	71.3
◎おたくの財産はどんな種類のものですか		543		275		72		6		63		1,224		149		68		61		572		3,037	
1. 土地又は山林		88	16.2	42	15.2	28	38.0	0	0	8	12.6	183	14.9	28	18.7	9	13.2	13	21.3	108	18.8	507	16.7
2. 家屋		170	31.3	88	32.0	23	31.0	3	50.0	23	36.5	282	23.0	40	26.8	23	33.8	22	36.0	184	32.1	858	28.2
3. 預金又は現金		156	28.7	82	29.0	12	16.0	2	33.0	23	36.5	429	35.0	46	30.8	17	25.0	16	26.2	162	28.3	945	31.1
4. 公社債、株券		92	16.9	39	14.1	7	9.0	0	0	2	3.1	293	23.9	30	20.1	6	8.8	8	13.1	90	15.7	567	18.7
5. その他		37	6.8	24	8.7	2	2.7	1	16.6	7	11.1	37	3.0	5	3.3	13	19.1	2	3.2	32	5.5	160	5.3
◎頼母子講(相互銀行無尽)に加入していますか		283		192		31		8		93		697		71		49		58		494		1,976	
1. している		148	52.2	90	46.8	4	12.9	3	37.5	34	36.5	243	34.8	35	49.3	15	30.6	11	18.9	185	37.4	768	38.8
2. していない		135	47.7	102	53.1	27	87.0	5	62.5	59	63.4	454	65.1	36	50.7	34	69.3	47	81.0	309			

神戸市民の貯蓄生活について（第一報）

b 職業別回答数

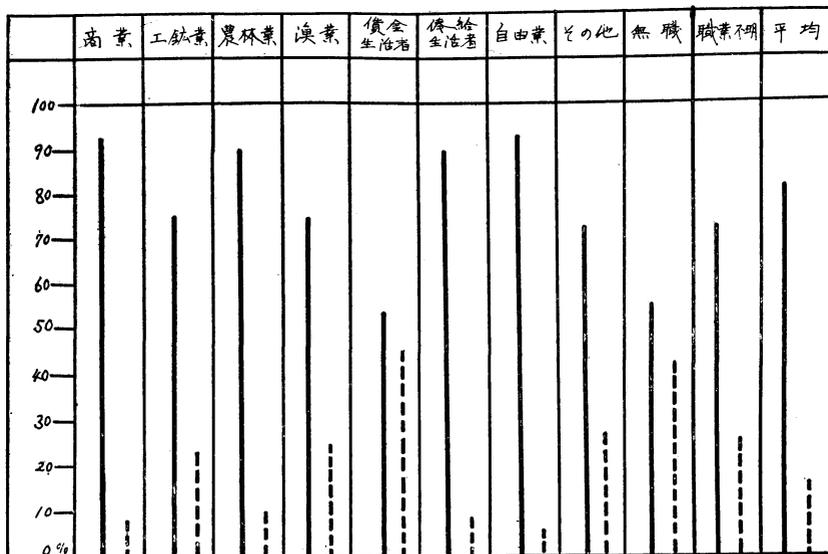
商 業	283枚	賃金生活者	93枚	無 職	58枚
工 鉱 業	192	俸給生活者	697	職 業 不 明	494
農 林 業	31	自 由 業	71		
漁 業	8	そ の 他	49		

c 各項目についての職業別調査集計表，次の如し。（別表2参照）

d 部分的に取り上げてグラフにしてみると，貯金をしている人は全国，兵庫県，の比較と大差なく殆んどが貯蓄している。（第1,2図参照）

〔第1図〕 貯 金 の 状 態 （神戸市）

——— している  
----- していない

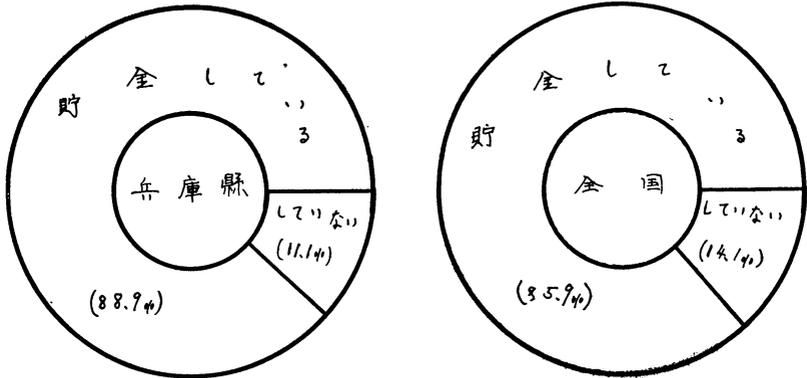


貯金の種類はグラフに示す如く普通預金が好まれ，次が定期預金となっている。当座預金は商業を営む人に利用され，サラリーマンにはわずか4.7%しか利用されていない。（第3図参照）

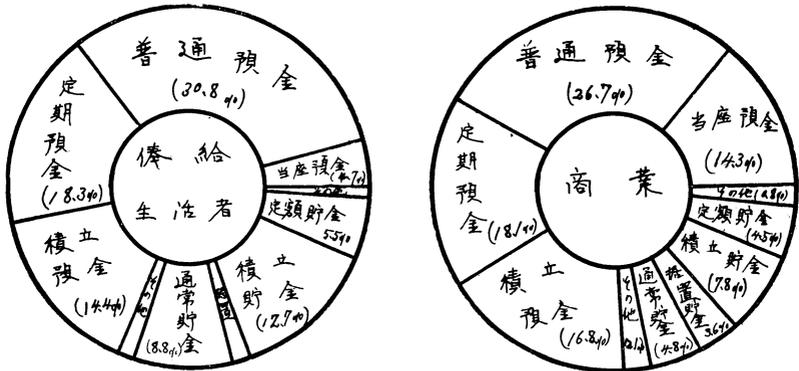
貯金の方法は私の調査では天引で貯金をするという人が78.9%で圧倒的に多いが，兵庫県，全国の比較グラフでみると半数を占めている。これは俸給生活者の数が神戸市の場合，多くなっているためであろう。（第4，5図参照）

貯金額と収入との割合は表に示す如く1割位が多く，次に5分位となっている。（第6図参照）

〔第2図〕 貯金の状態（全国，兵庫県の比較）（昭和31年11月貯蓄増強中央委員会調査）



〔第3図〕 預貯金の種類



貯蓄の目的は「病気その他不時の災害に備えて」が34.2%で最も多い。兵庫県でも30.8%，全国は30.6%で大差はない。次は「子供の教育費」が多く、「生活改善のため」の貯金は8.8%で第3位を占めているのは心強く思う。

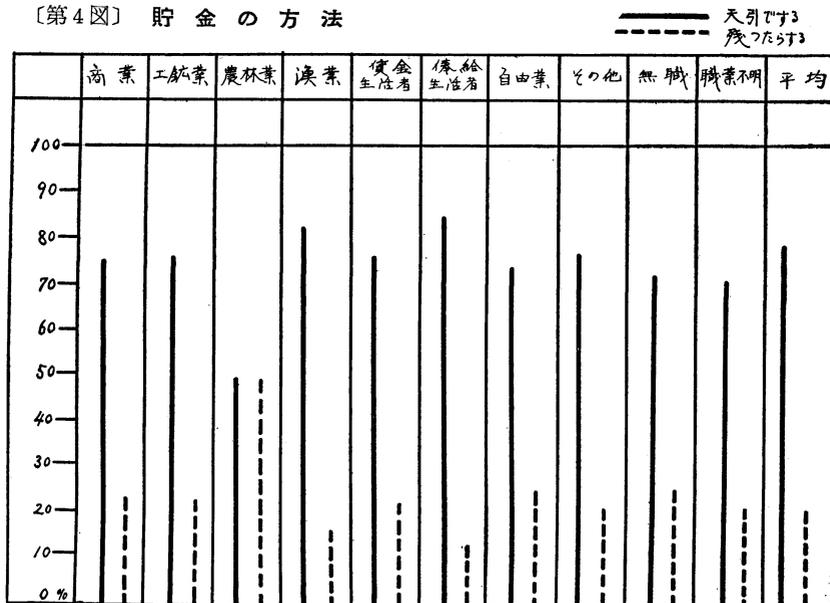
「納税のため」は商業生活者に多く、納税義務の責任を全うさそうという心構えがうかがえる。

「レクリエーションのため」の貯蓄は2.5%で最も少ないのは世相をよく物語っている。（第7図参照）

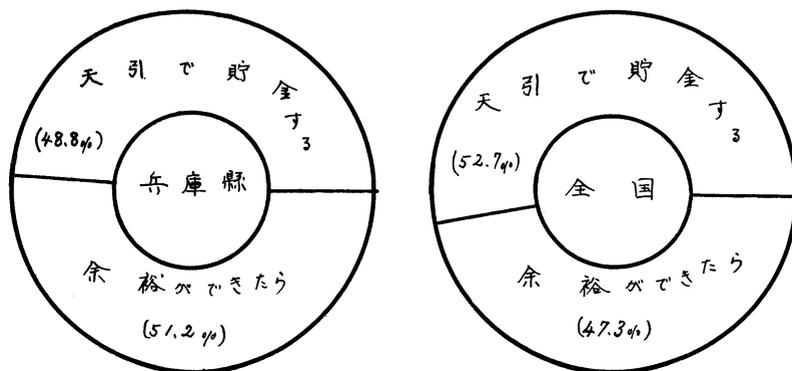
貯金するために各家庭ではどのような工夫がなされているか。節約している人が56.1%で第1位，臨時収入をまわす人は21.3%で2位である。内職や副業をして貯金に廻している人は割合に少ない。貯蓄増強中央委員会の調べもそ

神戸市民の貯蓄生活について（第一報）

〔第4図〕 貯金の方法



〔第5図〕 貯金の方法（全国，兵庫県と比較）（昭和31年11月貯蓄増強中央委員会調査）

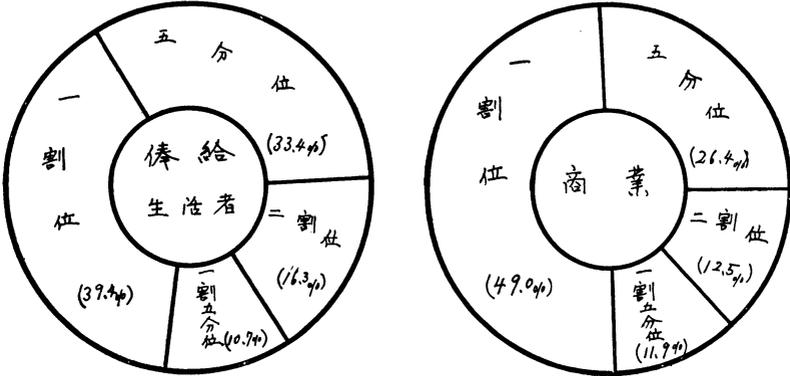


の割合が殆んど同じである。この点をこれから大いに研究する余地があると思う。（第8図参照）

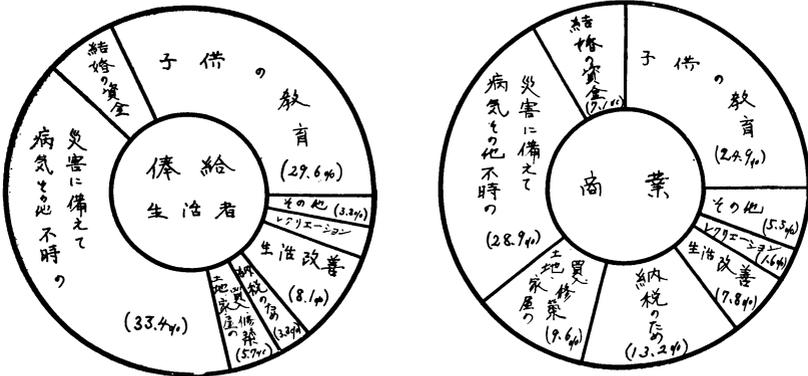
貯金の出来ないわけとして、「余裕がない」と答えた人がほとんどである。（第9図参照）

個人的な貯蓄ではないが、お金の運用の方法としての生命保険に加入している人は70.3%が多い。ただしグラフに見る如く貸金生活者、無職の人は加入

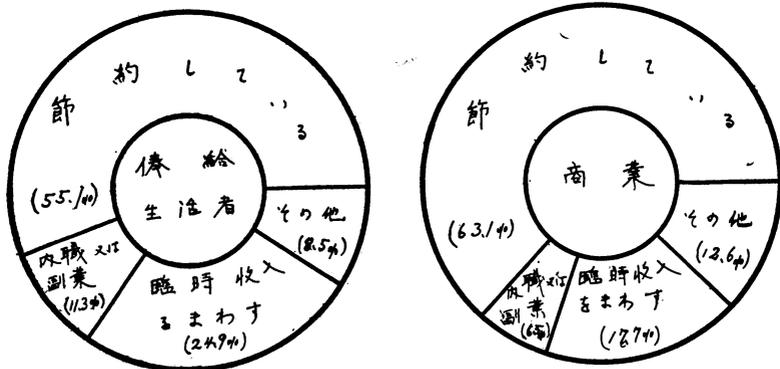
〔第6図〕 収入の何割を貯金しているか



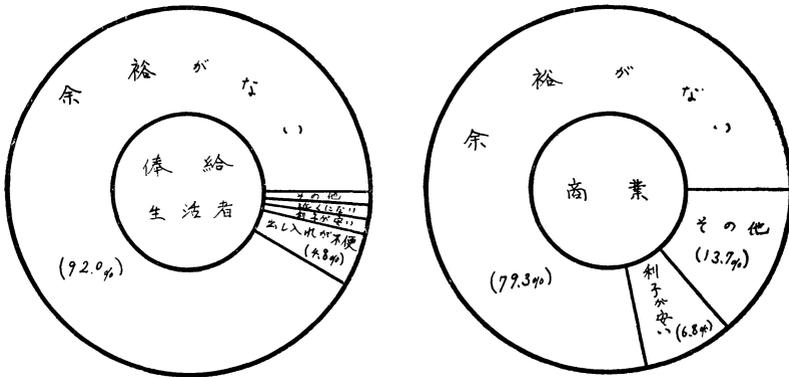
〔第7図〕 貯金の目的



〔第8図〕 貯金するための工夫

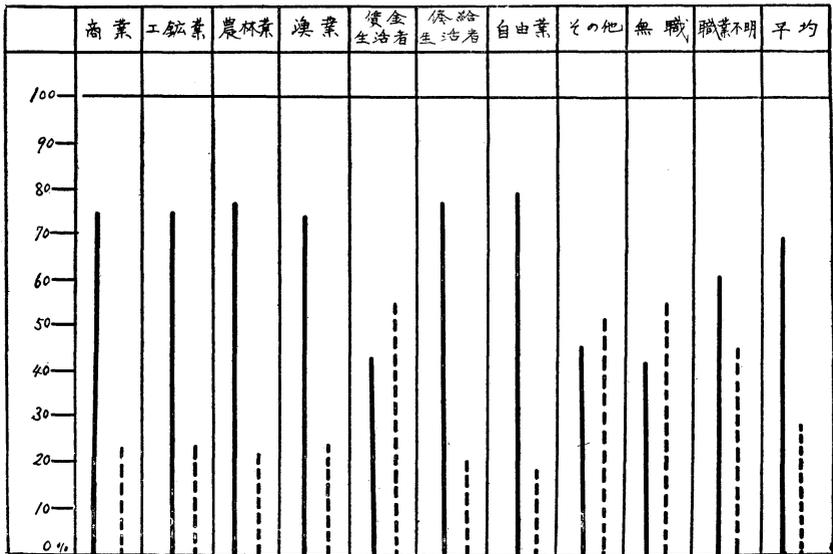


〔第9図〕 貯金の出来ない理由



していない方が多い。将来の生活設計まで考える余裕がないのであろう。

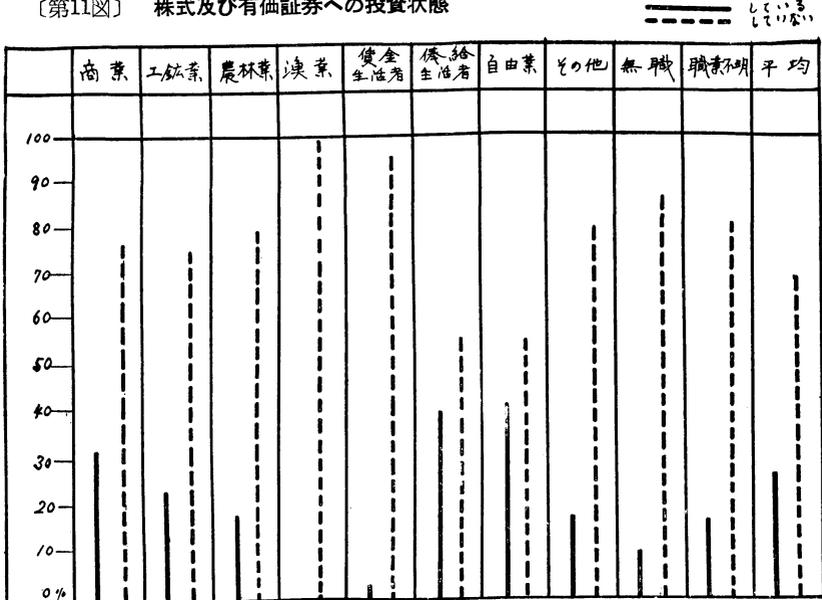
〔第10図〕 生命保険加入の割合



株式及び有価証券への投資状態は、世間でやかましくいわれているほどに良くなく、71.3%の人が投資していない。これは安全性が少なく、景気の動き如何で大切なお金が失われる恐れがあるからだろう。又投資単位が割合に大きいので給料生活者にはむりな場合がある。（第11図参照）

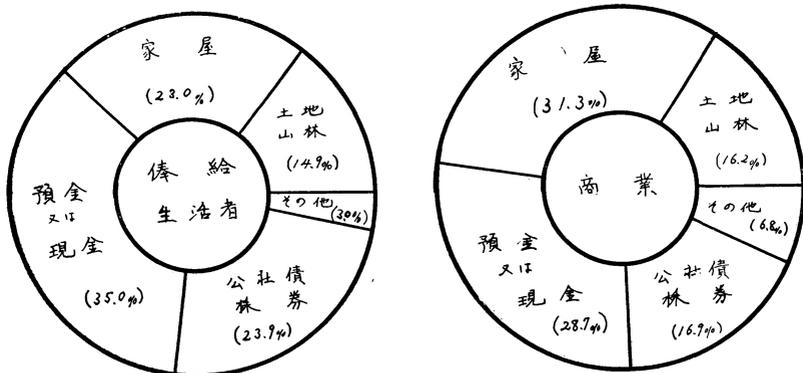
財産の種類であるが、預金又は現金として蓄えている人が31.1%あり、家屋

〔第11図〕 株式及び有価証券への投資状態



を持っている人は28.2%で、その他、土地又は株券としての財産は、次の表に示す如く全職域の比較と大差ない。

〔第12図〕 財産の種類

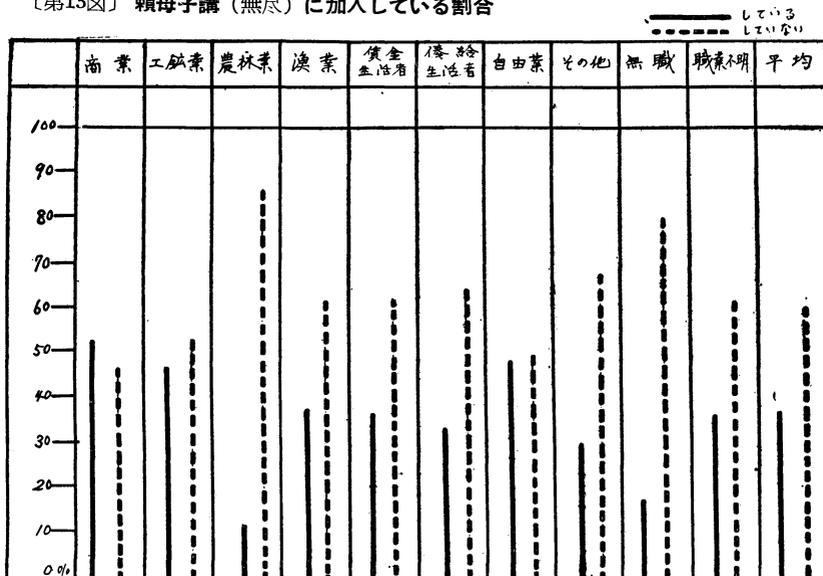


昔から広く民間で利用されてきた、頼母子講に加入している状態をみるとグラフに示す如く、商業、工鉱業、自由業者に多く利用され、他は割合に少ない。平均%は61.1%が利用していない。(第13図参照)

金銭信託、貸付信託に信託している人は殆んどなく、92.9%を示し、わずか7%の人が信託しているだけである。これは信託業に対する理解がないの

神戸市民の貯蓄生活について（第一報）

〔第13図〕 頼母子講（無尽）に加入している割合



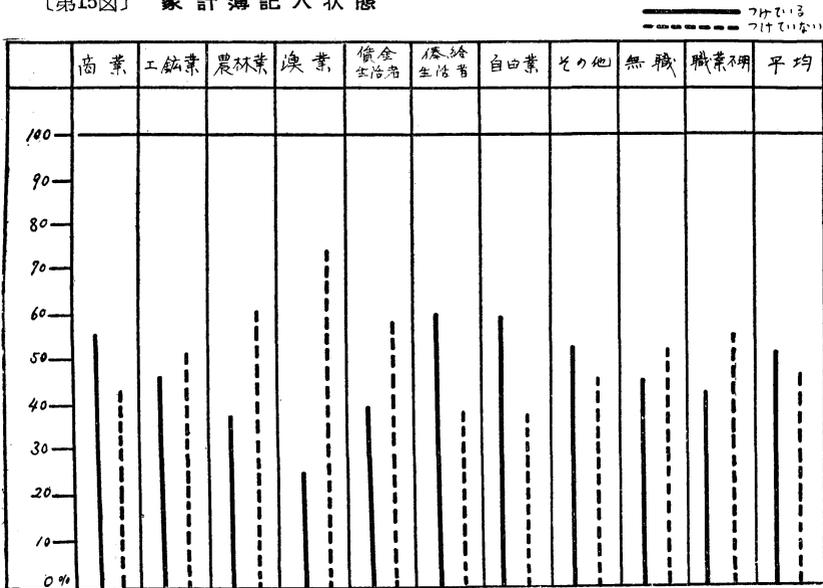
と、他の銀行に比べてその数が割合に少ないためであろうか。これはもっと研究してみないと、はっきりした結論は下されない。

〔第14図〕 金銭信託、貸付信託に信託している割合



以上は貯蓄に関する調査であるが、予算生活の実行を容易にさせ、生活の合理化を計る上に大切な、家計簿記入の状態を調べてみると52.4%が記入している。47.5%は記入していない。グラフに示す如く、商業、俸給生活者、自由業、その他はつけている人が多く、他の職域はつけていない人の方が多い。殊に収入の季節的変動のある、農林業、漁業がつけていないのが目立っている。これは兵庫県、及び全国平均にもあらわれている。

〔第15図〕 家計簿記入状態



## Ⅱ 要 約

- (1) 銀行預金又は郵便貯金をしているかに対し、している人は82.2%で殆どどの家庭が貯金している。
- (2) どんな種類の預貯金かには、普通預金を好む人が30.4%が一番多く、次は定期預金、積立預金の順になっている。
- (3) 貯金の方法として天引で貯金するのと、残ったら貯金するのと、どちらが良いか、の答えは圧倒的に、天引貯金が良いと、いっている。即ち、78.9%と21.1%の率である。
- (4) 収入のどの位を天引貯金しているか。1割位が42.5%で1位で、5分位が31.8%で2位である。次は2割位15.2%、1割5分位が10.5%となっている。

## 神戸市民の貯蓄生活について（第一報）

- (5) 貯金はどのような目的でしているか。病気その他不時の災害に備えてが34.2%、次は子供の教育費の29.3%、ずっとへって、納税のため8.8%、ついで結婚の資金に7.6%、最も少ないのがレクリエーションのために2.5%になっている。時節柄であろう。
- (6) 貯蓄するためにどのような工夫をしているか。節約している人が最も多く56.1%で、臨時収入を貯蓄に廻している人は21.3%で割合に開きがある。内職や副業をしてまで貯蓄しようという人は案外、少ない。
- (7) 貯金の出来ないわけとして、余裕がないの一語につきるほど86.8%の人がいっている。今の収入では貯金の無理なことである。
- (8) 生命保険に加入している人は70.3%が割合に多く、29.6%の人が加入していない。そのうち賃金生活者、無職の人が加入していない人が多い。
- (9) 株式その他の有価証券に投資している人は、28.6%で少なく、70.3%の人がしていない。これは安全性の点から、よほど信用のあるものでないと意外な損失を招くことがあるからであろう。
- (10) 財産の種類については、預金又は現金で、持っている人が31.1%で、次が家屋で28.2%、公社債、株券は18.7%、土地山林は16.7%の割合になっている。
- (11) 頼母子講は庶民的な方法にもかかわらず、加入者の少ないのはなぜであろうか。信用問題か、形式の古さか、何か問題があると思う。
- (12) 信託は、全然といってもよいほどに、利用されていない。理由として、信託業に対する一般の人の理解が十分でないことがあげられる。
- (13) 家計簿をつけているか、いないか、に対する答は、つけている人の方が、つけていない人より多いので、意を強くするわけであるが、その差がはなはだ少ないので、油断は出来ない。この点、家計簿記入の大切さとか、その形式の簡単になることを研究すれば、つける人がもっと多くなってくると思う。

## あ と が き

以上は神戸市といっても、都市を中心にしての調査で、農村が殆んどはふかれているので、部分的なものである。この点は勿論、他のいろいろな点からみて、不備なことが多いのは明らかであるが、この調査を一つの手がかりとして、更に農村への調査の、一段階とし、又照点を狭くして、深くほり下げ、今後の家庭経済のあり方の一角を研究出来れば幸いと思う。

最後に、この調査にあたり、御協力いただいた、市内各区の小学校校長先生、及び諸先生方、山手短大教授、竹内さく先生に深く感謝致します。  
兵庫県及び全国の％は、貯蓄増強中央委員会調査のものである。